

質問番号	設問文	軸 質問番号	表肩 質問番号	n%表
Q1	問2(公共主体としての役割からではなく、組織経営の観点から)貴組織にとって、なぜ女性活躍が必要だとお考えですか。組織トップが日ごろ発信している問題意識等にもっとも当てはまるものを一つだけ選択してください	NQ4		NP001
Q2	問3女性活躍に関する取組(男女共同参画、働き方改革を含む。)についての方針や考えを、貴組織のトップから職員向けに、どのくらいの頻度で発信していますか。直近の1年間についてお答えください。	NQ4		NP002
Q3S1	Q3-1.問4-1貴組織の行動計画の計画期間は何年間ですか。	NQ4		NP003
Q3S2.1	Q3-2.問4-2貴組織の行動計画の終期はいつですか。(半角数字でご記入ください)	NQ4		NP004
Q3S2.2	Q3-2.問4-2貴組織の行動計画の終期はいつですか。(半角数字でご記入ください)	NQ4		NP005
Q3S2.3	Q3-2.問4-2貴組織の行動計画の終期はいつですか。(半角数字でご記入ください)	NQ4		NP006
Q4	問5貴組織の女性活躍推進にとって、阻害要因となっているものはありますか。当てはまるものを最大3つまで選んでください。(3つまで)	NQ4		NP007
Q5.1	問6貴組織の女性活躍に関する以下の取組について、(1)女性活躍推進法の施行(平成28(2016)年4月)以前からもともと取り組んでいたもの、(2)女性活躍推進法の施行に当たって、事前に状況把握・課題分析したものの、(3)行動計画に数値目標を定めたもの、(4)(3)のうち、組織トップの意向が強かったもの、(5)(3)のうち、目標の達成見込みがあったもの、(6)女性活躍推進法に基づく情報公表を行っているもの、それぞれについて、当てはまるものいくつかも選択してください。※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。※項目4、5は、項目3で回答されたものの中からお選びください。 1.女性活躍推進法施行以前から取り組んでいたもの	NQ4		NP008
Q5.2	問6貴組織の女性活躍に関する以下の取組について、(1)女性活躍推進法の施行(平成28(2016)年4月)以前からもともと取り組んでいたもの、(2)女性活躍推進法の施行に当たって、事前に状況把握・課題分析したものの、(3)行動計画に数値目標を定めたもの、(4)(3)のうち、組織トップの意向が強かったもの、(5)(3)のうち、目標の達成見込みがあったもの、(6)女性活躍推進法に基づく情報公表を行っているもの、それぞれについて、当てはまるものいくつかも選択してください。※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。※項目4、5は、項目3で回答されたものの中からお選びください。 2.事前に状況把握・課題分析したもの	NQ4		NP009
Q5.3	問6貴組織の女性活躍に関する以下の取組について、(1)女性活躍推進法の施行(平成28(2016)年4月)以前からもともと取り組んでいたもの、(2)女性活躍推進法の施行に当たって、事前に状況把握・課題分析したものの、(3)行動計画に数値目標を定めたもの、(4)(3)のうち、組織トップの意向が強かったもの、(5)(3)のうち、目標の達成見込みがあったもの、(6)女性活躍推進法に基づく情報公表を行っているもの、それぞれについて、当てはまるものいくつかも選択してください。※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。※項目4、5は、項目3で回答されたものの中からお選びください。 3.行動計画に数値目標を定めたもの	NQ4		NP010
Q5.4	問6貴組織の女性活躍に関する以下の取組について、(1)女性活躍推進法の施行(平成28(2016)年4月)以前からもともと取り組んでいたもの、(2)女性活躍推進法の施行に当たって、事前に状況把握・課題分析したものの、(3)行動計画に数値目標を定めたもの、(4)(3)のうち、組織トップの意向が強かったもの、(5)(3)のうち、目標の達成見込みがあったもの、(6)女性活躍推進法に基づく情報公表を行っているもの、それぞれについて、当てはまるものいくつかも選択してください。※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。※項目4、5は、項目3で回答されたものの中からお選びください。 4.(3)のうち、組織トップの意向が強かったもの	NQ4		NP011
Q5.5	問6貴組織の女性活躍に関する以下の取組について、(1)女性活躍推進法の施行(平成28(2016)年4月)以前からもともと取り組んでいたもの、(2)女性活躍推進法の施行に当たって、事前に状況把握・課題分析したものの、(3)行動計画に数値目標を定めたもの、(4)(3)のうち、組織トップの意向が強かったもの、(5)(3)のうち、目標の達成見込みがあったもの、(6)女性活躍推進法に基づく情報公表を行っているもの、それぞれについて、当てはまるものいくつかも選択してください。※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。※項目4、5は、項目3で回答されたものの中からお選びください。 5.(3)のうち、目標の達成見込みがあったもの	NQ4		NP012
Q5.6	問6貴組織の女性活躍に関する以下の取組について、(1)女性活躍推進法の施行(平成28(2016)年4月)以前からもともと取り組んでいたもの、(2)女性活躍推進法の施行に当たって、事前に状況把握・課題分析したものの、(3)行動計画に数値目標を定めたもの、(4)(3)のうち、組織トップの意向が強かったもの、(5)(3)のうち、目標の達成見込みがあったもの、(6)女性活躍推進法に基づく情報公表を行っているもの、それぞれについて、当てはまるものいくつかも選択してください。※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。※項目4、5は、項目3で回答されたものの中からお選びください。 6.情報公表を行っているもの	NQ4		NP013
Q6	問7女性活躍推進法施行後、行動計画に基づく取組によって数字が伸びた・改善したと実感している事項は何ですか。該当する項目を選び、その内容を教えてください。(いくつかも)(記入例)採用を選択:女性の採用を増やすため、女子学生に対する採用活動に注力したところ、受験者数が○%増え、採用も○%増えた。	NQ4		NP014
Q7	問8女性活躍に関する取組について、この3年間の取組を踏まえた上で、今後貴組織として最も力を入れて取り組むとしていることとその理由は何ですか。(いくつかも)(記入例)継続就業を選択:介護が必要な家族を抱える職員増が見込まれていることから、介護離職を防ぎ、限られた時間でも活躍してもらえるように、柔軟な働き方を実現する制度の整備に取り組むこととしている。	NQ4		NP015
Q8S1	Q8-1.問9-1女性活躍に関する取組について、今後取り組みたいと考えているが、取り掛かりが難しい取組はありますか。(いくつかも)	NQ4		NP016
Q9	問10取組の進捗状況を把握し、次の取組につなげるため、毎年度状況を把握している項目はありますか。(いくつかも)	NQ4		NP017
Q10	問11職員に行動計画を周知させるために行っていることは何ですか。(いくつかも)	NQ4		NP018
Q11	問12貴組織の行動計画に基づく取組の実施状況の公表や、取組の振り返りのために行っている取組として当てはまるものを選択してください。(いくつかも)	NQ4		NP019
Q12	問13現在の取組の実施・推進体制について、予定も含めて、当てはまるものを選択してください。(いくつかも)	NQ4		NP020
Q13	問14貴組織において、さらに女性活躍の取組を推進するために必要と考えるものを選択してください。(3つまで)	NQ4		NP021
Q14	問15女性活躍推進に関する取組を実施することでどのような効果があったと感じますか。(いくつかも)	NQ4		NP022
Q15	問16女性活躍の取組を引き続き推進することで、今後どのような効果が期待できると感じていますか。(いくつかも)	NQ4		NP023
FLAG	「問4-2(行動計画の終期)」	NQ4		NP024
FLAG2	都道府県・市区町村の区別	NQ4		NP025
NQ4FLAG	阻害要因は特になし	NQ4		NP026
NQ4	「阻害要因は特になし」の回答有無	NQ4		NP027
NFLAG2N Q4	都道府県・市区町村/「阻害要因は特になし」の回答有無	NQ4		NP028

■クロス集計表(n%表)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

絞り込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

Q3-1.問4-1貴組織の行動計画の計画期間は何年間ですか。

		n	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上6年未満	6年以上
全体		41 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 7.3	7 17.1	28 68.3	3 7.3
「阻害要因は特にない」の回答有無	「阻害要因は特にない」を回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
	「阻害要因は特にない」を回答していない	38 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 7.9	6 15.8	26 68.4	3 7.9

絞り込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

Q3-2.問4-2貴組織の行動計画の終期はいつですか。(半角数字でご記入ください)

平成 年

		n	平均値	最小値	最大値
全体		41	32.98	31.00	38.00
「阻害要因は特にない」の回答有無	「阻害要因は特にない」を回答	3	32.67	32.00	33.00
	「阻害要因は特にない」を回答していない	38	33.00	31.00	38.00

絞り込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

Q3-2.問4-2貴組織の行動計画の終期はいつですか。(半角数字でご記入ください)

月

		n	平均値	最小値	最大値
全体		41	3.00	3.00	3.00
「阻害要因は特にない」の回答有無	「阻害要因は特にない」を回答	3	3.00	3.00	3.00
	「阻害要因は特にない」を回答していない	38	3.00	3.00	3.00

■クロス集計表(n%表)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

Q5.問6貴組織の女性活躍に関する以下の取組について、(1)女性活躍推進法の施行(平成28(2016)年4月)以前からもともと取り組んでいたもの、(2)女性活躍推進法の施行に当たって、事前に状況把握・課題分析したもの、(3)行動計画に数値目標を定めたもの、(4)(3)2.事前に状況把握・課題分析したもの

MA

	n	す女性 こ職 と員 の採 用に 関	る業 こ・性 事職 場員 風土 に継 続就 す	関長 する 間事 こと の是 正に	上有 給休 暇の 取得 率向	護男 参性 加職 員 の育 児・ 介	職育 員休 の明 け場 ・復 産休 支明 援け	す女 性職 員の 配置 に 関	支員 間に 対す る制 約が ある 職 ア	す女 性職 員の 評価 に 関	職す 比性 率職 員 の登 用 に 管 理 関	す男 女の 賃金 格差 に 関	そ 他 :	い ず れ も し て い ない
全体	41 100.0	31 75.6	25 61.0	31 75.6	24 58.5	35 85.4	14 34.1	19 46.3	9 22.0	4 9.8	34 82.9	1 2.4	1 2.4	3 7.3
「阻害要因は 特でない」の 回答有無	「阻害要因は特でない」 を回答	3 100.0	2 66.7	2 66.7	2 66.7	1 33.3	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	「阻害要因は特でない」 を回答していない	38 100.0	29 76.3	23 60.5	29 76.3	23 60.5	32 84.2	13 34.2	18 47.4	9 23.7	4 10.5	32 84.2	1 2.6	1 2.6

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

Q5.問6貴組織の女性活躍に関する以下の取組について、(1)女性活躍推進法の施行(平成28(2016)年4月)以前からもともと取り組んでいたもの、(2)女性活躍推進法の施行に当たって、事前に状況把握・課題分析したもの、(3)行動計画に数値目標を定めたもの、(4)(3)3.行動計画に数値目標を定めたもの

MA

	n	す女性 こ職 と員 の採 用に 関	る業 こ・性 事職 場員 風土 に継 続就 す	関長 する 間事 こと の是 正に	上有 給休 暇の 取得 率向	護男 参性 加職 員 の育 児・ 介	職育 員休 の明 け場 ・復 産休 支明 援け	す女 性職 員の 配置 に 関	支員 間に 対す る制 約が ある 職 ア	す女 性職 員の 評価 に 関	職す 比性 率職 員 の登 用 に 管 理 関	す男 女の 賃金 格差 に 関	そ 他 :	い ず れ も し て い ない
全体	41 100.0	16 39.0	4 9.8	16 39.0	19 46.3	38 92.7	3 7.3	4 9.8	1 2.4	0 0.0	38 92.7	1 2.4	1 2.4	0 0.0
「阻害要因は 特でない」の 回答有無	「阻害要因は特でない」 を回答	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	「阻害要因は特でない」 を回答していない	38 100.0	15 39.5	4 10.5	15 39.5	18 47.4	36 94.7	3 7.9	1 2.6	0 0.0	35 92.1	1 2.6	1 2.6	0 0.0

■クロス集計表(n%表)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

Q5.問6貴組織の女性活躍に関する以下の取組について、(1)女性活躍推進法の施行(平成28(2016)年4月)以前からもともと取り組んでいたもの、(2)女性活躍推進法の施行に当たって、事前に状況把握・課題分析したもの、(3)行動計画に数値目標を定めたもの、(4)(3)4.(3)のうち、組織トップの意向が強かったもの

		n	す 女 性 の 雇 用 に 関 す る こ と	業 界 の 風 土 に 関 す る こ と	女 性 職 員 の 登 用 に 関 す る こ と	長 時 間 の 働 き に 関 す る こ と	上 給 休 暇 の 取 得 率 向	護 男 性 職 員 の 育 児 ・ 介	職 育 休 の 明 け 場 ・ 産 休 支 明 援 け	す 女 性 職 員 の 配 置 に 関 す る こ と	支 員 時 間 に 対 し 制 約 が あ る 職 ア	す 女 性 職 員 の 評 価 に 関 す る こ と	職 比 率 を 含 む 女 性 管 理 に 関 す る こ と	男 女 の 賃 金 格 差 に 関 す る こ と	そ の 他 :	い ず れ も し て い な い
全体		41 100.0	6 14.6	4 9.8	9 22.0	8 19.5	13 31.7	1 2.4	1 2.4	0 0.0	0 0.0	20 48.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 26.8
「阻害要因は特 にない」の 回答有無	「阻害要因は特 にない」を 回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	「阻害要因は特 にない」を 回答してい ない	38 100.0	6 15.8	4 10.5	9 23.7	8 21.1	12 31.6	1 2.6	1 2.6	0 0.0	0 0.0	17 44.7	0 0.0	0 0.0	11 28.9	

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

Q5.問6貴組織の女性活躍に関する以下の取組について、(1)女性活躍推進法の施行(平成28(2016)年4月)以前からもともと取り組んでいたもの、(2)女性活躍推進法の施行に当たって、事前に状況把握・課題分析したもの、(3)行動計画に数値目標を定めたもの、(4)(3)5.(3)のうち、目標の達成見込みがあったもの

		n	す 女 性 の 雇 用 に 関 す る こ と	業 界 の 風 土 に 関 す る こ と	女 性 職 員 の 登 用 に 関 す る こ と	長 時 間 の 働 き に 関 す る こ と	上 給 休 暇 の 取 得 率 向	護 男 性 職 員 の 育 児 ・ 介	職 育 休 の 明 け 場 ・ 産 休 支 明 援 け	す 女 性 職 員 の 配 置 に 関 す る こ と	支 員 時 間 に 対 し 制 約 が あ る 職 ア	す 女 性 職 員 の 評 価 に 関 す る こ と	職 比 率 を 含 む 女 性 管 理 に 関 す る こ と	男 女 の 賃 金 格 差 に 関 す る こ と	そ の 他 :	い ず れ も し て い な い
全体		41 100.0	10 24.4	2 4.9	5 12.2	8 19.5	11 26.8	0 0.0	0 0.0	2 4.9	0 0.0	0 0.0	18 43.9	1 2.4	1 2.4	12 29.3
「阻害要因は特 にない」の 回答有無	「阻害要因は特 にない」を 回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	「阻害要因は特 にない」を 回答してい ない	38 100.0	10 26.3	2 5.3	5 13.2	8 21.1	11 28.9	0 0.0	0 0.0	2 5.3	0 0.0	0 0.0	15 39.5	1 2.6	1 2.6	12 31.6

■クロス集計表(n%表)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

Q5.問6貴組織の女性活躍に関する以下の取組について、(1)女性活躍推進法の施行(平成28(2016)年4月)以前からもともと取り組んでいたもの、(2)女性活躍推進法の施行に当たって、事前に状況把握・課題分析したもの、(3)行動計画に数値目標を定めたもの、(4)(3)6.情報公表を行っているもの

MA

	n	す女性 職員の 採用に 関	る業 事・職 場の 風土に 関	女 性職 員の 就業 状況 に 関	長 時 間 の 正 に 関	上 有 給 休 暇 の 取 得 率 向	護 男 性 職 員 の 育 児 ・ 介	職 育 休 員 の 明 け 場 ・ 産 休 支 明 援 け	す 女 性 職 員 の 配 置 に 関	支 援 に 対 し 制 約 が あ る 職	時 間 に 対 し 制 約 が あ る 職	す 女 性 職 員 の 評 価 に 関	職 率 を 含 む 性 管 理 に 関	す 女 性 職 員 の 登 用 に 関	男 女 の 賃 金 格 差 に 関	そ の 他 :	い ず れ も し て い な い
全体	41 100.0	33 80.5	14 34.1	21 51.2	24 58.5	38 92.7	3 7.3	6 14.6	2 4.9	1 2.4	39 95.1	1 2.4	1 2.4	0 0.0			
「阻害要因は 特でない」の 回答有無	「阻害要因は特でない」 を回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0		
	「阻害要因は特でない」 を回答していない	38 100.0	31 81.6	13 34.2	20 52.6	23 60.5	37 97.4	3 7.9	5 13.2	2 5.3	1 2.6	36 94.7	1 2.6	1 2.6	0 0.0		

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

Q6.問7女性活躍推進法施行後、行動計画に基づく取組によって数字が伸びた・改善したと実感している事項は何ですか。該当する項目を選び、その内容を教えてください。(いくつでも) (記入例)採用を選択:女性の採用を増やすため、女子学生に対する採用活動に注力し

MA

	n	採 用 :	庭 継 の 統 続 就 業 等 (仕 事 と 家)	長 時 間 の 正 に 関	教 育 訓 練 の 配 置 ・ 育 成 ・	評 価 ・ 登 用 :	そ の 他 :	改 善 し た 事 項 は な い
全体	41 100.0	6 14.6	12 29.3	9 22.0	9 22.0	25 61.0	3 7.3	0 0.0
「阻害要因は 特でない」の 回答有無	「阻害要因は特でない」 を回答	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
	「阻害要因は特でない」 を回答していない	38 100.0	6 15.8	11 28.9	9 23.7	22 57.9	3 7.9	0 0.0

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

Q7.問8女性活躍に関する取組について、この3年間の取組を踏まえた上で、今後貴組織として最も力を入れて取り組むとしていることとその理由は何ですか。(いくつでも) (記入例)継続就業を選択:介護が必要な家族を抱える職員増が見込まれていることから、介護離職を

MA

	n	採 用 :	庭 継 の 統 続 就 業 等 (仕 事 と 家)	長 時 間 の 正 に 関	教 育 訓 練 の 配 置 ・ 育 成 ・	評 価 ・ 登 用 :	そ の 他 :	な い を 入 れ たい 取 組 は
全体	41 100.0	2 4.9	20 48.8	18 43.9	12 29.3	11 26.8	4 9.8	0 0.0
「阻害要因は 特でない」の 回答有無	「阻害要因は特でない」 を回答	3 100.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0
	「阻害要因は特でない」 を回答していない	38 100.0	2 5.3	19 50.0	17 44.7	12 31.6	9 23.7	4 10.5

■クロス集計表(n%表)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

Q8-1.問9-1女性活躍に関する取組について、今後取り組みたいと考えているが、取り掛かりが難しい取組はありますか。(いくつでも)

		n	採用	継続就業(仕事と家庭の両立等)	長時間労働の改善	教育訓練の配置・育成	評価・登用	その他	と考えている組みたいなど
全体		41 100.0	1 2.4	9 22.0	8 19.5	6 14.6	1 2.4	8 19.5	12 29.3
「阻害要因は特にならない」の回答有無	「阻害要因は特にならない」を回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0
	「阻害要因は特にならない」を回答していない	38 100.0	1 2.6	9 23.7	8 21.1	6 15.8	1 2.6	8 21.1	9 23.7

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

Q9.問10取組の進捗状況を把握し、次の取組につなげるため、毎年度状況を把握している項目はありますか。(いくつでも)

		n	女性の採用割合	採用試験の受験者の女性割合	全職員に占める女性職員の割合	部署や課室ごとの女性職員の割合(女性職員の配置の偏り)	平均継続勤務率の男女差(又は離職率の男女差)	採用3年目までの職員の定着率(全体、男女別問わず)	男女別10年前に採用した職員の割合	超過勤務一人当たりの一月当たり	長時間労働が常態化している	管理職の超過勤務状況	管理職に占める女性職員の割合	管理職に昇進した者の男女別	男性職員の育児休業・配偶者	年次休暇取得率	柔軟な働き方を可能とする制度(テレワーク、フレックス等)の利用状況	中途採用の男女別実績	女性活躍推進に関する職員の意識	その他	特になし
全体		41 100.0	38 92.7	33 80.5	38 92.7	12 29.3	13 31.7	0 0.0	7 17.1	40 97.6	16 39.0	1 2.4	40 97.6	9 22.0	39 95.1	40 97.6	17 41.5	8 19.5	3 7.3	2 4.9	0 0.0
「阻害要因は特にならない」の回答有無	「阻害要因は特にならない」を回答	3 100.0	3 100.0	2 66.7	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	1 33.3	3 100.0	0 0.0	2 66.7	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	「阻害要因は特にならない」を回答していない	38 100.0	35 92.1	31 81.6	35 92.1	11 28.9	13 34.2	0 0.0	7 18.4	37 97.4	16 42.1	0 0.0	37 97.4	9 23.7	37 97.4	37 97.4	16 42.1	8 21.1	3 7.9	2 5.3	0 0.0

■クロス集計表(n%表)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

IV 行動計画の職員への周知について

Q10.問11職員に行動計画を周知させるために行っていることは何ですか。(いくつでも)

MA

	n	て行動 メー ル 画 で の 策 定 に 周 知 す る	の 実 施 に 基 づ き 周 期 的 に 取 組 む	の 機 会 を 活 用 し た 周 知 修 正	職 場 内 掲 示 板 へ の 掲 載	ホ ー ム ペ ー ジ へ の 掲 載	広 報 誌 へ の 掲 載	い た り の 意 見 募 集 点 に つ き	認 知 度 を 検 証 す る た め の ケ ー ス スタ ディ	そ の 他 :	特 に な し
全体	41 100.0	7 17.1	6 14.6	14 34.1	21 51.2	38 92.7	2 4.9	1 2.4	4 9.8	4 9.8	0 0.0
「阻害要因は 特になし」の 回答有無	「阻害要因は特になし」 を回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	「阻害要因は特になし」 を回答していない	38 100.0	6 15.8	5 13.2	13 34.2	20 52.6	35 92.1	2 5.3	1 2.6	4 10.5	0 0.0

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

V 女性活躍のための取組を推進するための体制について

Q11.問12貴組織の行動計画に基づく取組の実施状況の公表や、取組の振り返りのために行っている取組として当てはまるものを選択してください。(いくつでも)

MA

	n	し 項 目 の 検 証 ・ 分 析 ・ 最 新 と 値 判 を 断 り 握 り た	化 や ニ ー ズ を 聴 取 し た 変 更	職 員 を 対 象 と し て の 意 見 を 採 取 す る	約 束 取 組 局 課 室 に 対 し 、 個 別 に 調 査 す る	そ の 他 :	特 に な し
全体	41 100.0	38 92.7	7 17.1	7 17.1	2 4.9	0 0.0	0 0.0
「阻害要因は 特になし」の 回答有無	「阻害要因は特になし」 を回答	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	「阻害要因は特になし」 を回答していない	38 100.0	35 92.1	7 18.4	7 18.4	2 5.3	0 0.0

■クロス集計表(n%表)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

Q12.問13現在の取組の実施・推進体制について、予定も含めて、当てはまるものを選択してください。(いくつでも)

	n	女性職員活躍推進に係る担当課を設ける	人事担当課等に、女性職員活躍推進に係る担当課を設ける	女性職員活躍推進に係る組織トップの強い意思、実行力	女性活躍の必要性についての職員の理解・協力	女性職員の仕事に対する意欲の向上	女性職員の昇進意欲の向上	男性職員の家事・育児への参加意欲の向上	超過勤務時間の縮減	底層業務の状況等への「見える化」の徹底	各事業主の女性活躍状況（女性採用・登用率）の公表	女性活躍を推進するための部署の設置	女性活躍を担う担当者への熱意	法令等による強制力	第三者の視点が入った取組の検証体制の整備	効率的に組織の実情に沿った課題を把握するためのシステム（マニユアル）	柔軟な働き方に関する制度（テレワーク、フレックスタイム制度等）の更なる柔軟な運用	トップダウンで行う大幅な業務効率化	職場のペーパーレス化	職員一人一人の生産性を高める意識	その他	特になし
全体	41 100.0	3 7.3	10 24.4	15 36.6	0 0.0	7 17.1	4 9.8	11 26.8														
「阻害要因は特になし」の回答有無	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0
		3 100.0	3 7.9	10 26.3	15 39.5	0 0.0	7 18.4	4 10.5	8 21.1													

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

Q13.問14貴組織において、さらに女性活躍の取組を推進するために必要と考えるものを選択してください。(3つまで)

	n	女性職員活躍推進に係る組織トップの強い意思、実行力	女性活躍の必要性についての職員の理解・協力	女性職員の仕事に対する意欲の向上	女性職員の昇進意欲の向上	男性職員の家事・育児への参加意欲の向上	超過勤務時間の縮減	底層業務の状況等への「見える化」の徹底	各事業主の女性活躍状況（女性採用・登用率）の公表	女性活躍を推進するための部署の設置	女性活躍を担う担当者への熱意	法令等による強制力	第三者の視点が入った取組の検証体制の整備	効率的に組織の実情に沿った課題を把握するためのシステム（マニユアル）	柔軟な働き方に関する制度（テレワーク、フレックスタイム制度等）の更なる柔軟な運用	トップダウンで行う大幅な業務効率化	職場のペーパーレス化	職員一人一人の生産性を高める意識	その他	特になし	
全体	41 100.0	4 9.8	2 4.9	15 36.6	0 0.0	16 39.0	18 43.9	29 70.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 34.1	2 4.9	1 2.4	4 9.8	2 4.9	0 0.0	
「阻害要因は特になし」の回答有無	3 100.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		4 100.0	4 10.5	2 5.3	13 34.2	0 0.0	16 42.1	16 42.1	27 71.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	14 36.8	2 5.3	1 2.6	4 10.5	2 5.3	0 0.0

■クロス集計表(n%表)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

VI 女性活躍推進に関する取組実施の効果について

Q14.問15女性活躍推進に関する取組を実施することでどのような効果があったと感じますか。(いくつでも)

MA

	n	た離職率の低下がみられた	あ採用活動への好影響があった	すライフイベントに起因する退職者が減った	が介護に起因する退職者が減った	超過勤務時間が減った	わ男性職員が育児にかかわる時間が増えた	得女性職員の育児休業取得期間が短くなった	セクハラ相談窓口への相談が増えた	がための雇用形態転換が増えた	キヤリアアップを目的とした研修の受講率が上がった	キヤリアアップの研修を受けた	女性管理職が増えた	ま男女の賃金格差が縮まった	果男女の人事評価の結果における差異がなくなった	率両立支援制度の利用率が上がった	がための制度の利用率が上がった	柔軟な働き方をを行うための制度の利用率が上がった	中途採用者が増えた	減った	管理職の残業時間が減った	る組織の必要性を認識した	組方向に意識を推進する	性活躍を更に意識する	が打ち出せない政策が打ち出された	これまでにない政策が打ち出された	業務のセッションが起きた	ン・満足度が向上した	職員のモチベーションが向上した	職場環境が改善された	が向上した	国民・住民からの評価	組織内のガバナンスが向上した
全体	41 100.0	1 2.4	7 17.1	1 2.4	0 0.0	9 22.0	20 48.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.4	38 92.7	0 0.0	0 0.0	11 26.8	10 24.4	1 2.4	0 0.0	2 4.9	3 7.3	2 4.9	0 0.0	3 7.3	4 9.8	0 0.0	0 0.0	3 7.3	4 9.8	0 0.0	0 0.0			
「阻害要因は特にならない」の回答有無	「阻害要因は特にならない」を回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0		
	「阻害要因は特にならない」を回答していない	38 100.0	1 2.6	7 18.4	1 2.6	0 0.0	8 21.1	19 50.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	35 92.1	0 0.0	0 0.0	10 26.3	9 23.7	1 2.6	0 0.0	2 5.3	3 7.9	2 5.3	0 0.0	3 7.9	4 10.5	0 0.0	0 0.0	3 7.9	4 10.5	0 0.0	0 0.0			

	n	その他	特に効果はなかった
全体	41 100.0	4 9.8	0 0.0
「阻害要因は特にならない」の回答有無	「阻害要因は特にならない」を回答	0 0.0	0 0.0
	「阻害要因は特にならない」を回答していない	4 10.5	0 0.0

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

Q15.問16女性活躍の取組を引き続き推進することで、今後どのような効果が期待できると感じていますか。(いくつでも)

MA

	n	離職率の低下	採用活動への好影響	因する退職者が減る	者介護に起因する退職者が減る	超過勤務時間が減る	か男性職員が育児にかかわる時間が増える	取女性職員の育児休業取得期間が短くなる	のセクハラ相談窓口への相談が増える	転換するための雇用形態が増える	指キヤリアアップを目的とした研修の受講率が上がった	キヤリアアップの研修を受けた	女性管理職が増える	ま男女の賃金格差が縮まった	果男女の人事評価の結果における差異がなくなった	率両立支援制度の利用率が上がった	がための制度の利用率が上がった	柔軟な働き方をを行うための制度の利用率が上がった	中途採用者が増える	減った	る組織の必要性を認識した	組方向に意識を推進する	性活躍を更に意識する	が打ち出せない政策が打ち出された	これまでにない政策が打ち出された	業務のセッションが起きた	ン・満足度が向上した	職員のモチベーションが向上した	職場環境の改善	価向上	国民・住民からの評価	組織内のガバナンスが向上した
全体	41 100.0	7 17.1	12 29.3	7 17.1	7 17.1	20 48.8	31 75.6	5 12.2	0 0.0	1 2.4	6 14.6	36 87.8	1 2.4	1 2.4	18 43.9	19 46.3	2 4.9	3 7.3	2 4.9	2 4.9	6 14.6	5 12.2	15 36.6	18 43.9	3 7.3	0 0.0	3 7.3	4 9.8	0 0.0	0 0.0		
「阻害要因は特にならない」の回答有無	「阻害要因は特にならない」を回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	「阻害要因は特にならない」を回答していない	38 100.0	7 18.4	12 31.6	7 18.4	7 18.4	19 50.0	30 78.9	5 13.2	0 0.0	1 2.6	6 15.8	33 86.8	1 2.6	1 2.6	17 44.7	18 47.4	2 5.3	3 7.9	2 5.3	2 5.3	6 15.8	5 13.2	15 39.5	18 47.4	3 7.9	0 0.0	3 7.9	4 10.5	0 0.0	0 0.0	

■クロス集計表(n%表)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

Q15.問16女性活躍の取組を引き続き推進することで、今後どのような効果が期待できると感じていますか。(いくつでも)

MA

		n	その他	は特 ない 期待 できる 効果
全体		41 100.0	2 4.9	0 0.0
「阻害要因は特 にない」の 回答有無	「阻害要因は特 にない」を 回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0
	「阻害要因は特 にない」を 回答して いない	38 100.0	2 5.3	0 0.0

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

「問4-2(行動計画の終期)」

SA

		n	平成 2 9 年 度	平成 3 0 年 度	平成 3 1 年 度	平成 3 2 年 度	平成 3 3 年 度	平成 3 4 年 度	平成 3 5 年 度	平成 3 6 年 度	平成 3 7 年 度	平成 3 8 年 度
全体		41 100.0	0 0.0	1 2.4	8 19.5	30 73.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.4	1 2.4	0 0.0
「阻害要因は特 にない」の 回答有無	「阻害要因は特 にない」を 回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	「阻害要因は特 にない」を 回答して いない	38 100.0	0 0.0	1 2.6	7 18.4	28 73.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	1 2.6	0 0.0

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

都道府県・市区町村の区別

SA

		n	都 道 府 県	市 区 町 村
全体		41 100.0	41 100.0	0 0.0
「阻害要因は特 にない」の 回答有無	「阻害要因は特 にない」を 回答	3 100.0	3 100.0	0 0.0
	「阻害要因は特 にない」を 回答して いない	38 100.0	38 100.0	0 0.0

■クロス集計表(n%表)

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

阻害要因は特にない

SA

	n	は都 特道 に府 な県 い・ 阻 害 要 因	は市 特区 に町 な村 い・ 阻 害 要 因
全体	3 100.0	3 100.0	0 0.0
「阻害要因は特にない」の回答有無		「阻害要因は特にない」を回答	3 100.0
		「阻害要因は特にない」を回答していない	0 0.0

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

「阻害要因は特にない」の回答有無

SA

	n	い「 」阻 害 を 回 答 因 は 特 に な	いい「 」阻 害 を 回 答 因 は 特 に な
全体	41 100.0	3 7.3	38 92.7
「阻害要因は特にない」の回答有無		「阻害要因は特にない」を回答	3 100.0
		「阻害要因は特にない」を回答していない	38 100.0

絞込み条件 [都道府県 : FLAG2 OR 1]

都道府県・市区町村／「阻害要因は特にない」の回答有無

SA

	n	答因都 は道 特府 に県 な／ い「 」阻 害 を 回 答 要	答因都 は道 特府 に県 な／ い「 」阻 害 を 回 答 要	答因市 は区 特町 に村 な／ い「 」阻 害 を 回 答 要	答因市 は区 特町 に村 な／ い「 」阻 害 を 回 答 要
全体	41 100.0	3 7.3	38 92.7	0 0.0	0 0.0
「阻害要因は特にない」の回答有無		「阻害要因は特にない」を回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0
		「阻害要因は特にない」を回答していない	38 100.0	0 0.0	0 0.0